

恵泉会創立 50 周年

令和 5 年 5 月 21 日、恵泉会は創立 50 周年を迎えました。

今を遡ること昭和 46 年 3 月、当時の登米郡内の「精神薄弱者を守る会」により登米地方町村会に向けて郡内に精神薄弱者福祉施設を設置する請願が出されました。それを受けて、昭和 47 年 5 月登米地方町村会は請願を受諾されましたが、宮城県内での先駆的な取組として、公設ではなく民間の法人が設立されることとなりました。それが昭和 48 年 5 月 21 日に法人認可された「**社会福祉法人 恵泉会**」です。

恵泉会が創立 50 周年を迎えることができたのは、地域の皆様方の厚いご支援と温かい激励、そして各関係機関のお力添えの賜物と心より深く感謝いたします。これからも職員一同気持ちを新たに、皆様方のご支援に応えるべく邁進いたします所存でございます。

恵泉会では、創立 50 周年にあたり記念式典を挙行いたします。記念式典では「秋保 慈眼寺住職 塩沼亮潤大阿闍梨」により記念講演をいただきますが、**地域の皆様にも是非一緒にお聞きいただきたく、一般公開いたします。参加費は無料です。**ご希望の方は、恵泉会法人本部または各施設から整理券をお求め下さい。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

※整理券の配布は令和 5 年 8 月 25 日（金）以降、平日の 8:30～17:00 となります。座席数に限りがございますので、お早めにお求めください。

記念講演

日時 10 月 26 日(木) 14:00～

場所 登米祝祭劇場 大ホール

講師 慈眼寺 住職 塩沼亮潤大阿闍梨

演題 『寄りそう心』

【講師の紹介】

過去 1300 年で 2 人目となる、1 日 48 キロの険しい山道を千日間歩き続ける「千日回峰行」を満行。その後、9 日間の断食・断水・不眠・不臥の中、20 万遍の御真言を唱え続ける「四無行」を満行する。また 100 日間の五穀断ち・塩断ちの前行の後、「八千枚大護摩供」を満行。

2003 年に仙台市秋保に慈眼寺を開山。2021 年 12 月に「塩沼亮潤大阿闍梨基金～ともに寄り添うプラットフォーム～」を創設。

著書は『寄りそう心』、『幸いをいただきまして このひとときを大切に』、『人生生涯小僧のこころ』ほか。

